（十三日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭日 第一 第三日曜
定價 一ケ月 六十錢 郵税 部二錢 十五錢
廣告料 一行六十錢 指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町十六番地 磐城新聞社 電話五六四番

現代童謠詩壇の傾向

立正大學 加藤輝雄

四

島田忠夫氏の『童謠詩』派に對抗してゐる『赤い鳥』派殊に『乳樹』を中心としたる北原白秋氏門下には多くの逸材を藏してゐる。與田準一、巽聖歌、多胡羊齒、有賀連、平野直君等がそれである。與田君の一篇

宴會

切符ノヤウニ配ラレル
オ皿ノナカニ配ラレル
オ皿ガ百マイ、二百マイ
ツグミノ丸燒、タダ一羽

『乳樹』第三號より

などは實にフレッシュな感はあるが、一つのマンネリズムでしかあり得ない。古びた・マでしかない所に、非常に新しい線を歩く、猶今後の一層の飛やくを望みたい、『赤い鳥』は最近、鈴木三重吉氏によつて、再刊續行される模樣である！『赤い鳥』派『乳樹』派の人々か『童謠詩』派の人々と對抗し、いはゆる新人によつて今後の新興童謠詩壇を築き上げられることは、大きな期待をかける次第である。

ほかに酒井朝彥、水谷まさる、伊藤貴麿、千葉省三氏等の『童話文學』には、酒井、水谷兩氏の童謠を見る。しかし、水谷まさる氏は百年一日の如く少女的感傷に浸つてゐて、到底生氣なき存在である、酒井朝彥氏は島田忠夫氏の影響を受けること最も多く、したがつてその上に出づるとは思はれない。水谷、酒井氏は古い早大英文科の出であるが、むしろ童話の方に期待すべき作家であらう。

以上は大体現代の新進童謠詩人を列記したに過ぎぬ猶かつ、それら童謠詩壇を

童謠詩

さむ夜

東京 龍造寺光生

勉強に倦いて
土間にゐる
兄さのそばへ
おりてつた

身うちのしまる
月夜ざし
ならんで飛ぶか
雁が啼く

こゑもかけずに
兄さんは
こそこそ繩を
あんでゐる

早春

市川健次

つるべ竿さはつた
椿の葉
朝露きらきら
こぼれます

ぼくが水汲み
母さんは
背戸の日なたで
お洗濯

葉もれ陽ちらちら
小やぶ中
從なきうぐひす
まださむい

文藝消息

○島田忠夫氏――日蓮上人六百五十年忌に用ふる舞踊歌一篇及び『入滅』と題する宗教詩一篇を立正大學宗務院より依囑されて脫稿した

○加藤輝雄氏――日蓮上人事蹟研究のため、下田近傍へ講査に立正大學より數ヶ月の豫定で起くことに決定

展望するに便なる新聞雜誌及び書籍を左に掲げておく。

○『童話文學』 東京市外上落合六七、酒井朝彥方發行
○『赤い鳥』 再刊印刷中 鈴木三重吉方
○『乳樹』 休刊中
○『童謠詩』 印刊中、相州茅ヶ崎町驛前原田小太郎方
○『童謠詩人』 休刊中
○信濃毎日新聞學藝欄
○いはらき新聞學藝欄
○立正大學新聞學藝欄
○日本童謠十講、東京交蘭社發行
○島木赤彥童謠集一、二、三 東京古今書院發行
○柴木集 東京岩波書店刊行
○白秋全集 東京アルス刊

―（今月今日）―

△我第一軍海城を占領す（明治二七）△ボエルヘーブ生る、和蘭の科學者で完全な製藥の創始者である、醫學ばかりでなく物理學植物學に精通しレーテン大學の講座を擔任し名聲內外に高い、彼人間に有功なる製藥を頒布して多くの人命を救つたばかりでなく製藥術の基礎を創建し（紀元一、六六八）△江戸兩國橋成る（萬治元）△伶人に洋樂を學はしむ（明治七）

拈華微笑

◇そろそろ凍み融けだ、ツンと捏ねるが良い第三小學校道路
◇順應でないのは借金許り
◇商賣柄に似合はず農村逼迫で痩せる肥料商人
◇勞銀が下る鑛區も減る一方大勢
◇獄中生活廿年。愬うなると裟婆の年數を勘定した方が早い
◇喃々の睦言を聽かぬうち後家お鳬つかの騷ぎ。驅も亦及ばずカネ
□……□

講談 赤鞘安兵衛

東京 桃川燕二演
村田月光畫

（一二六）

尤も此れ方の孫に當る內匠頭の代に至つて、家斷絕の椿事が出來たが、後の世迄も武門武士の鑑となるべき四十七士の仇討と云ふ事も生じた、君の風を見習ふ家來井戸の水に住む鯉と同樣でございます、斯る名君が書道を言立てにお召抱えを願つた堀部彌兵衛が、古今集の淨書をに斷り申上げたに就て御不審晴れず……『治郎太夫の推擧致したるは其方の書道にある、斯ばかりのものを寫し取れぬとは如何な譯ぢや』……『まことに恐れ入りましてございます、治郎太夫君のた德を種々話し呉れました、手前も武士の血を受けたもの、御名君のお取立に預り堀部の姓に返り、兩刀を手挾みますこと生涯の願にございました、今日浪人分とは云へ兎も角も武士の端くれに相成りましたのは、是れ平生の願が足りたのでございます、全く一ト度武士になり度いとの、志より不信不義とは存じながら上を僞り奉りて申譯がありませぬ、手前は何を隱し申しませう書道なぞの心得のある者ではございませぬ、斯樣な大切のお書物に手を付けますることは憚り多うございます、此上は上を僞りました る罪縛り首もはりつけも厭ふところではありませぬ、宜しく御成敗の程を願ひ奉ります』意外なことを申出した、殿樣よりも傍に聞いてゐた大石治郎太夫驚いた……『何を申す彌兵衛扨々其方は正直者と存じたるに言語同斷な奴、其方は御成敗を受けて夫れで宜しからうが拙者は殿樣へ申譯のため切腹してお詫仕らねばならぬ』……『誠に大石氏にはお氣の毒さまでござるが冥土黃泉へお交際下さい、一人旅は面白くなからうと存じます、立派な武家大石治郎太夫殿の道連は喜ばしい！』……『何と拙者を冥土の道連イヤ早驚き入つた次第だ』と云つたが治郎太夫變り者だから愈々その變つたところを發揮して……『ウム面白からう、閻魔の廳へ同行しよう、殿へ願ひ奉る斯樣な不埓な人間とも存ぜず、平素の志を憐んで僞らるゝと知らずに迂架〳〵推擧仕つたのは、治郎太夫生涯の誤り、何卒手前には切腹仰せ付けられまする樣』こゝに死に度いものが二人出來てしまつた、長直公は呆氣に取られて暫く兩人の顏を打守つてお出でになつたが……『彌兵衛其方は何か、命にかけて一ト度は兩刀を帶す身分になり度いと存じたのか』……『仰せの通り其願ひ叶ひました以上は思ひ置くこと更にござりませぬ、何卒重きおしおき仰せ付けられまする樣』……『隨分變つた男だな治郎太夫の推擧故變つた人間を見出したものだ、百姓で暮らせば命にかゝはることもあるまいに、併し面白い氣分の男だ、イヤそれ程武士を執心ならば僞つた廉は忘れ取らする、是より諸士分として抱え二十石の祿を與へる今日命を捨てた氣で我に仕へよ』殿樣も變つたお方の樣だが是れは然うでないこゝで僞つた廉を以て彌兵衛を成敗する時は、治郎太夫は必ず切腹して申譯をする、是一人の家來を失ふ道理と、下を哀れむ仁君の長直公早く御合點遊ばした彌兵衛はまだ日が淺いふと其の性質は分らぬが二十石で命を買つてやる樣なもの折あらば役に立つ事もあらう』斯樣に思召したから夫是で寬大なお言葉が出たのでございます、彌兵衛喜んだの喜ばない……『のちやアない夢ではないか』我頬ッペタを抓つて見る位……『ハ、ッ忝けなき仕合せにございます』治郎太夫ホッと一ト息……『やれ〳〵切腹がオヂャンになつたか』同じオジャンでも目出度いオジャン、こゝで彌兵衛は堀部彌兵衛金丸と稱し二十石で勤仕の身となり、平生の願が足りたのでございます。

ラヂオ

……十四日（日曜）……

東京 JOAK

△午前九時氣象通報
△九時十分榮養料理（メザシ）榮養研究所
△九時三十分（子供の時間）お話（砂糖の出來るまで）テキスト二二ページ、香取任平
△十時修養講座（敎育者として）……原益一 中島利一郎
△十一時國際勞働講座（國際勞働機關と國際聯盟）奥山清治
△正午時報
△午後〇時三十分ニュース 放送局編輯
△〇時四十分俚謠大會（東京）一、大島節 二、磯節 三、木更津甚句 四、大漁節 五、八木節（名古屋）一、伊勢、津小唄 二、四日市小唄（大阪）一、ヒラカタ地方船頭唄 [illegible] 一、[illegible] 二、いバフ節をどり（[illegible]）一、黒田節 二、博多節 三、ドンタクの唄（熊本）一、球磨、俚謠、六調子
△三時四十分氣象通報
△三時五十分經濟市況
△六時（子供の時間）童話劇 雪のお婆さん、出演若草童話劇協會
△六時三十分運動講座（ラグビーのビックゲームを見て）橋本壽三郎
△七時ニュース
△七時二十五分ラヂオ風景（忠臣藏廿二景）兜改め、松切り、殘傷、道行、判官切腹、城明渡し、二つ玉、勘平腹切り、一力茶屋、かごもり、天川屋、打入り
△九時四十分時報、氣象通報

仙臺 JOHK

△正午氣象通報
△午後〇時四十分俚謠大會 一、相馬節 二、馬子唄 三、相馬二へん返し 四、相馬太神樂 五、相馬盆祭踊
△七時ニュース、氣象通報 番組豫告、告知事項

芳醇無比 [illegible]馬の雪 松本徳一吟釀 平電話二八五

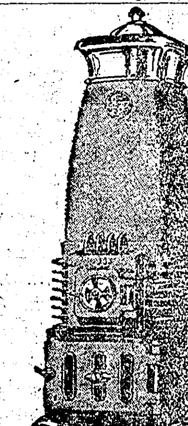
上田外科醫院 院長 上田耕作 平町南町電一二九

洗つて砂ぬき
黒い胡麻 一合 五錢
白い胡麻 一合 五錢
むき胡麻 一合十五錢
すり胡麻 一瓶廿五錢
万 平町土橋 電話四八九

冬のサロン
暖房裝置も充分に
暖かい御飲物
暖かい御料理
そして芳醇のカクテールを
洋食通の季節になりました
ドーゾ御來店を……！
サロン 平町電三五二番

不思議な滋強靈液 養命酒
其の白熱的賣行は何を物語るか？
左の病む人々に勸む
一、肺病、ロクマク、神經衰弱、胃病、婦人病、營養不良、に對する特異の靈効を有す。
直ちに御試用を乞ふ。
縣下一手販賣店 平町五丁目角 山野邊藥局
定價 試用分 一、二〇 約廿日分 三、〇〇 約四十日分 四、〇〇

嚴冬征服の王者



◉ストーブハフクロク、ストーブヲ御選定下さい
一、最モ安イ石炭デ最モ良ク燃エルストーブハフクロクノ右ニ出ヅルモノハアリマセン。
二、石炭商ノ立場ヨリ各種ノストーブヲ嚴密試驗ノ結果始メテ理想的フクロク・ストーブヲ見出シマシタ
◉御希望ノ御方ヘカタログヲ持參シテ御說明申上マス何卒御下命ノ程ヲ
福島縣總代理店 ツ 阿部石炭商店 平停車場 電話二三七番

高久病院
內科 外科 小兒科 耳鼻咽喉科 花柳病科 レントゲン科
醫學士 高久忠 醫學士 赤羽清 新潟醫學藥劑士 佐竹菊雄
平町田町 電話五一三番

木村醫院
內臓外科一般 外科花柳病科（入院隨意）
平町六丁目（橋際） 電話三〇九

昌 ホール建設一週年記念 惣菜部開設
緊縮時代 實質本位 精撰食料 吟味調理 薄利多賣 多量販買 經費節約
尖端宴會 園會 銚子付 五品供 半園會 銚子付 三品供
出前……
カレーライス 一〇 ハヤシライス 一〇 チキンライス 一五
コロツケ 一〇 魚フライ 一〇 カツレツ 一五
丸昇軒食堂 電四三九

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門
黴毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門
內科部 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

專門眼科醫師擔任
無料檢眼 無料檢眼券 御利用下さい
TOKIWAYA
信用アリ正確味萬點ノ時計部
御客樣本位ノ眼鏡部
平 壹 常盤屋時計店 電三三九

專門 一般內科
內科何デモ診療ハ致シマス 呼吸器病バカリデハアリマセヌ
川井內科診療所
平町南町六五 電話一八二番
醫學士 川井重之 女醫 川井安子

師走の今日靜に顧る 平町の既往一年
幾多の負ひ目を殘して 一、九三〇年を送る寂しさ

師走にして過ぎし一年を振り返つて見る、そこには精神的にも物質的にも人それ〴〵のおひめが出來てしまつた、而も年内に遂々決濟し畢はせなかつた心のなやみは除夜の鐘がなるまで續く、蓋し個人のみの問題ではない、吾人が住む大平町としても既往一年の功罪や如何、だ手柄の方で云へば水道擴張工事の起工などまさに特筆すべき一事であらうが之れは餘りに人の知る處一つなさねばならなかつた方を詮議立てして見る

計劃丈けの 城趾公園
實現時期不明

碧潭靜かに平舊城跡の神秘を凝むる丹後澤の濠二町歩は本丸邊の風物を取入れて町民の遊歩散策に開放する公園として施設すべくさきに國有から拂下げを受けたが平町財政の現況は恁うした比較的悠長な施設の目的に若干の支出をなすべく餘りに潤澤でなく而も急を要する金のいり途が次ぎ次ぎと出來て今年もこの儘行つてしまふこの一帶が幽邃閑雅な公園となり鈴曳く人をしてそゞろに闍老安藤公の偉業を偲ばしむるは果していつの事か

悩みの種 署跡の處分
坪百圓の言ひ値に歯が立たぬ町

元警察署跡敷地の處分之れがまた町にとつてなやみの種子である、廣袤まさに三百七十坪、之れを縣から拂ひ下げを受けるにしても先きの言ひ値が實に坪當り百圓也この合計金額三萬七千圓と云ふに至つては一寸手が出せない事云ふにや及ぶ。ばかりでなく之れをうんと値切つた處で肝腎の手許不如意子供達を遊ばせる小公園にとか何とか涼しい事を云つた處でとう〳〵年内には物にならず之れ亦來年に繰り越しとある

聚樂館道路
擴張も不可能

聚樂館わきから材木町や欣淨寺通りに連繫する二間道路を四間にする計劃、之れは既に八十間の區間に對し關係居住者の移轉や土地買收費など合計二千圓を豫算に計上してあるが之れ亦今年の平町財政としては思ひ乍らつい手が屆かず未決の

南裏も延期
支線亦同運命
まま翌年へ

欣淨寺畔から公會堂入口に至る南裏の道路新設之れが完成は住民の交通上衛生上町としてまさに吃緊の施設であるが之れ亦今年のしごとにならず星眼科わきと縣社前の兩支線道路と共にあとまはし

民力を休め 徐に待つ事
斯くて年は去る

觀し來れば餘りに負ひめのある現今の平町よ、而も當分は須らく民力休養の時期とあつて之れ等の新規事業が果してこれから何年の後に實現されるやら想へば情けない極みではある

休山廢坑を除き 採掘礦區一千萬坪減少
礦業税から觀たる 地方最近の炭礦界

礦業税の内採掘並に試掘の礦區税は毎年十二月末に翌年分を前納すべき規定なので平税務署でも過般來明年度分の賦課に對して調査中の處この程漸くこれが調査を終了したが之れによると採掘は六十坪に付三十錢の割で二萬六千三百四十九圓此の件數九十八件礦區坪數五千二百六十九萬八千坪で前年に比較し各礦業權者は長期間多大なる資本を投下したのと將來の減區を考慮し折角取得した礦區を拋棄するに忍びず辛くも之れを維持して來た關係上休山廢坑の礦區件數十三件が減じたのみであるが反面に於て現下の不況で炭價は低落の一途を辿るばかりか九州炭北海炭におされ採算上まさに受難時代に直面して居るを以て勢ひ礦區坪數を減ずる結果廢山休坑を除き前年に比し九百十三萬四千坪税額に於て四百五十六圓七十錢の減少を見るに至り一面試掘礦區に於ても亦不況の影響を受け着業見込なしとして拋棄せるもの續出したために逐炭制限の効果現はるゝか或は運賃値下の實行により好影響を生ずる場合あるとしても礦區税を標準として觀察したる目下の地方炭界は極めて華々しからざる狀態に置かれてある

平町會召集
二十日頃か

平町に於ては本月初旬に町會召集豫定のところ夏井川河川改修工事の寄附及傳染病豫防費等の昭和五年度追加豫算の縣認可が遲れた爲に延引來る廿日前後開會される模様で例の問題たる第三小學校通路に關する件も附議される筈である

畜牛結核 檢査成績良好
罹病全然無し

平署では去月二十五日より畜牛結核豫防、用牛結核病檢査を執行し去る一日を以つて乳牛九十五頭の檢査を終了したがその結果罹病牛は勿論疑似さへ全然なく罹病牛二頭を出した前年に比較しその成績良好を一般から喜ばれてゐる

騰つたのは皆無で 約半數は低落
平町の勞銀調べ

平町役場最近の調査に依る石城郡下の勞働賃銀は調査職種三十三種中本年六月に比し低落せるもの十六種、異動なきもの十七種で總体に於いて四分五厘の低落を示してゐるが之を昨年末に比する時は三分五厘の低落で時恰も歳末に際し失業者續出の折柄唯だ生きて行くだけの勞銀を得れば足ると云ふ傾向が著しいので年末がたしせまるに從つてより以上低下するものと見られてゐるが勞銀の現況左の如し

一、騰貴したるものなし
一、低落したるもの
大工、左官職、石工、建具職、瓦葺、木羽織、錻力職、ペンキ職、煉瓦職、アスファルト職、スレート職、指物職、木挽職、（一圓二十錢から一圓五十錢）
異動なきもの
綿打職、洋服裁縫職、染物職、杜氏、醬油釀造職、菓子職、經師職、疊刺、下駄職、鍛冶職、鑄物職、活版植字工、版摺工、製本工、石版工、人夫（一圓から一圓五六十錢迄）

農村の窮迫から 蒼くなる肥料商
問屋への拂ひが遲れ 來年の取引を憂慮す

米價安による一般農家の金融逼迫は師走に於いて一層甚しく昨年以來借越した肥料代の返濟に詰り矢の様な肥料商の催促に青息吐息の有様であるが過般縣農會が發表した如く一年間汗と膏で働いた努力の結果が一反に付五圓の欠損と云ふ如き慘澹たる窮狀に映された平町其他の肥料商は東京方面の問屋筋に仕拂が立たず二進も三進もいかぬ有様で困り拔いてゐるがこれに付て平町某肥料商は語る

實際農家經營の內面から見ると自作、小作とも極めて悲慘なもので殊に一年の欠損は容易に恢復されるものでないから未回收の肥料代が果して何時になつたら握れるか測り難く觀測されるので大いに前途を悲觀せぬわけには行かない明年からは問屋との取り引も圓滑を缺くは勿論のことで此の點非常に憂慮してゐる

詐欺窃盗前科十三犯 獄中生活二十年の曲者
石城の各旅館料理店を荒し 隣縣磯原の湯屋で捕はる

去月二十五日湯本町星新三郎方の止宿客で賄料六圓餘を踏み倒して逃走したに引續き同二十八日には內郷村綴綿屋料理店で六圓餘を無錢飮食して姿を晦せた事件あり更に本月一日より三日間磐崎村大字上湯長谷蛯の湯に止宿した自稱內郷村大字宮大友寅夫なる怪漢から十三圓餘の賄料を踏み逃げされ其夜湯本町の一流旅館山形屋でも藝者をあげて大盡風を吹かせ三十五圓餘の遊興をして逃走した自稱澤渡村中寺田子傳之助なる男あり手口が殆んど同一なので何者かが時節柄そつちこつちを潛り歩き同一手段で料理店、旅館專門に荒し廻るものと見込をつけ內偵中去五日夜茨城縣多賀郡磯原町二ツ島礦泉旅館野口ハル方に入湯滯在中の擧動不審の男あるを磯原部長派出所大川部長杉山巡査が引致松原署において小山部長刑事係のもとに嚴重取調の結果同人は原籍山形縣南村山郡堀田村上野金子常松（四二）で詐欺罪により平區裁判所にて懲役四ヶ年を求刑され去月十三日福島刑務所を出獄した詐欺窃盗前科十三犯刑務所生活前後二十年十ヶ月を送つたしたゝかもので出獄當時刑務所より與へられた賞與金八十五圓を持つて一ト先づ歸郷したが再び郷里を飛び出し平町に來る頃は懷中無一文となつたところからまた〳〵惡心を起し前記の如く石城地方中心に旅館、料理店荒しを働いた事判明尚は餘罪ある見込で嚴重取調べを續けてゐる

投槍
寄書歡迎

理事者に悃願

僕は本紙に於いて教育界の脅威を叫んだ石城の一教員に共鳴する、實際小學校教員の初任給引き下げは是に悲むべき出來事であり、出來得べくんば斯くの如き主張の徹回をわれ等は希望したい、併し町村販政の困窮、つひにわれ等の希望を容れ難しとしたら、その引き下げ率を最少限度に止めしむよう、町村當局の懇情を期待する、小學校教員の職能から見て現在の俸給は決して厚きに過ぎない、否寧ろ薄きに過ぎよう、この薄きが上にも薄き教員給を更らに薄からしめる動機を造るそのことをわれ等は初等教育界の危機と斷じたい小學校員に若し特殊の惠典があるとしたら、それは就職に對する百パーセントの機會を持つだけである、その後に於ける彼等は一生鼻垂れ小僧を相手に單調無趣味の生活を繰返すだけだ。與ふることの少なきを認めてこれ以上の剝奪は成るだけ遠慮すべきであると思ふ

（平町の一父兄）

農青年の希望

誰でも口を開けば都會に於ける失業者群の數字を擧げて絕叫してゐるが、之れは都會の或一部分に過ぎない、全國六割を占むる農民は失業どころでない、毎日損失をしてゐる、即ち都會に於ける失業者は職がないのみで損失はない、却つて身體の休養が出來てゐる、今にも政府が積極的新事業でも起せば直ちに安定が出來るに反し、農民は年中働いて生産費を償ふ事の出來ない即ち缺損である、若し此不況にして今後三年も續くならば、愈々我同胞過半の民衆は殆んど破綻餓死の狀態に至るやも測り知れない

茲に於いて各自の覺悟が有らねばならぬ即ち我等農村は堅實なる自治に待たねばならぬから、政府は不況救濟は出來ないまでも町村自治行政には些かも壓迫干涉丈けは眞平御免を蒙り度いと思ふ

（平窪煩悶生）

長谷川氏辭任

四倉町信用組合長谷川豐之助氏は最近健康上辭職したので十二日午前九時より同組合樓上に於て組合長選定の理事會を開催したが一部理事の欠席あり流會となつた

平署管內 組頭會議
建碑其他を附議

平署管內四町十七ヶ村の消防組頭會は來十八日正午から署會議室に於いて開催殉職組員記念碑建立の件外數件を附議すると

四倉組頭會
十五日開催豫定

四倉署管內二町四ヶ村の消防組頭會は來る十五日午後一時より同署會議室に於て開催の筈

石城町村長會

石城郡町村長會は來る廿四日頃平町に開き新川改修費五千圓臨時借入の件を協議する

綿々の情を聽く前に 泥棒と合點して騒ぐ
哀れ妻戀ふ鹿の失敗 師走の夜のナンセンス

石城郡湯本町三函炭礦夫數馬丈男（四八）は三年以前妻を失ひ獨身生活をしてゐるが今春頃から隣家に同じく寡婦暮しをしてゐる赤門ヨネ（三九）となれそめ夫婦氣どりで暮してゐたが丈男はヨネに連子が四人もある爲先頃から薄々嫌氣がさしはじめ急によそ〳〵しく家を他所にして遊び歩くのでヨネは去月頃丈男を見すてて內郷村高坂に別居してしまつた丈男もこうなると急に女が戀しくなり居ても立つても居られず大に誠意を披瀝してもとの鞘に納まつて貰ふべく去る十一日夜長驅高坂に至り十時頃そつとヨネ宅へ忍び込み積る思ひを打ち明かそうとした處ヨネは適つ切り盜賊が入り込んだものと早合點し大聲で助を求めたので大騒ぎとなり附近駐在巡査に取り押へられ家宅侵入罪として平署で目下取調べを受けてゐる

赤井嵐

◇京都では舞子が無税ばかりでなく補助を與へてるそうだ、帶一本何千圓のアノ仕度では算盤が取れようがない哀ひ行く彼等に對する保護政策である、舞子は京都を代表し同時に日本の花である、京都らしい優しい溫味のある施設である◇東北で保護政策をとつてゐるのは秋田縣である、秋田美人の今日の名を謳はるゝようになつたについては縣市の力が後ろに動いてゐるのだ平町の藝者は月に十六圓の税金がかゝる禁止税と思はれるほど高い税金を取つて藝者の減つて行くのは、それだけ社會の風紀が矯正されるとでも思つてんだつべか。』とは最近藝者を廢業して君の家の女將となつた小玉姐さんの熟柿臭い氣焰◇ナニ若い燕だつて。およしよアタシんのは花だよ、配合が竹だからさ。うゑつ。

小學校長會

十三日午前十時より小名濱町の小學校に開催される石城郡下小學校長會には縣より津田縣視學出張臨席した

弄花に朝嵐し
宿の手すさびに其筋の手が入る

平町搔槌小路中村屋旅館止宿富山縣中新川郡上市町生れ藤田忠吉（三〇）同郡南加積村立花由太郎（三三）同郡高部村島田盛二（三八）茨城縣多賀郡日立町樋田義秀（三〇）同郡上市町蛙田一雄（三）の賣藥行商人五名は前記旅館二階に於いて十二日午前九時頃現金掛花札賭博を開帳中平署員に檢擧された

明日の吉凶
舊暦十月廿五日　新暦十二月十四日

▲一白の人　殺氣充ちて時に或ひは口論を生ずることあり▲二黑の人　手心掛け引きの六ヶしき日商事は殊に然り▲三碧の人　文書の交換契約事には深き注意を拂ふべし▲四綠の人　自我の念をおさへ人にさからはずば無事なるべし▲五黄の人　初めははかどらざれど追々順調にすすみ行くべし▲六白の人　次第に來る幸運を取りのがさぬ樣に努力すべし▲七赤の人　己のほつする處に近づき來る喜びの日▲八白の人　約束事は當てにならぬ日後日にゆづるが安全▲九紫の人　淸淨を旨とし自然任せに動く事

修繕料半額値下斷行
親切叮嚀迅速
時計 貴金屬 眼鏡
秋山時計店
有聲座前

本日又々狂言替り
初日ヨリ大好評益々氣沸騰
舊劇 壺坂靈現記 丁九郎……川□子 澤市……艶子 お里……綾子
喜劇 あわて者 一場
歌劇 地獄のモダーガール
社會劇 空の勇者、八景
大レビュー 一團
川島武雄……弘子 おいく……艶子
新派悲劇 不如歸 浪子……綾子
一座各狂言見落勿れ（午後五時開場）
聚樂館
後援 各新聞販賣店一同

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
（久）釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

平新川町十九
木村病院
電話一六四
內科、婦人科 院長 木村寅次郎
女醫 木村コウ
內臟外科整形外科 醫學士 松永憲一
藥局 東京藥學士 萩原駿一

特賣!!!
福島縣清酒品評會 一等賞受領
たひら正宗
同 優等賞受領
花春
醬油釀造元
鹽屋 山崎合名會社
電話一番

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥店 おはなし三